

## 令和7年度決算の概要

### I 貸借対照表

資産総額は、固定資産が12億6千万円、流動資産が7億3千3百万円の13億9千3百万円で、前年度に対して6億1百万円（4.3％）の減少となっています。主な要因は、備品等の取得による増加（2億3千1百万円）、現金及び預金の増加（3千5百万円）、前払費用の増加（2百万円）及び減価償却による減少（7億6千5百万円）、その他の未収金の減少（9千5百万円）によるものです。

資産のうち、有形固定資産が93.2％を占め、このうち県から出資を受けた土地・建物が10億4千1百万円で79.5％を占めています。

負債は、固定負債が13億5千1百万円、流動負債が6億4千1百万円の総額19億9千3百万円で、前年度に対して1千5百万円（0.8％）の減少となっています。主な要因は、運営費交付金債務の増加（3千7百万円）、長期繰延補助金等の増加（2千4百万円）、短期リース債務の増加（2千万円）、預り金の増加（1千万円）、前受受託研究費等の増加（6百万円）、未払消費税の増加（2百万円）及び未払金の減少（8千7百万円）、長期リース債務の減少（2千8百万円）によるものです。

なお、長期繰延補助金等（注1）が8億3千万円と負債総額の41.6％を占めており、また、流動負債では、未払金が3億7百万円と15.4％を占めています。

純資産の部の総額は、114億円で、前年度に対して5億8千6百万円（4.9％）の減少となっています。その主な要因は、県から出資された建物の減価償却等による減価償却相当累計額（注2）が5億2千4百万円増加及び利益剰余金が6千2百万円減少したことによるものです。

（単位：百万円）

| 資産の部        | 6年度    | 7年度    | 増減    | 負債の部          | 6年度     | 7年度     | 増減    |
|-------------|--------|--------|-------|---------------|---------|---------|-------|
| 固定資産        | 13,198 | 12,660 | ▲ 538 | 固定負債          | 1,358   | 1,351   | ▲ 7   |
| 有形固定資産      | 13,010 | 12,476 | ▲ 534 | 長期繰延補助金等      | 805     | 830     | 25    |
| （土地）        | 2,031  | 2,031  | 0     | 長期未払金         | 21      | 19      | ▲ 2   |
| （建物）        | 9,593  | 9,128  | ▲ 465 | 長期リース債務       | 530     | 502     | ▲ 28  |
| （構築物）       | 208    | 203    | ▲ 5   | 流動負債          | 650     | 641     | ▲ 9   |
| （工具器具備品）    | 407    | 339    | ▲ 68  | 運営費交付金債務      | 12      | 50      | 38    |
| （医療用工具器具備品） | 87     | 106    | 19    | 寄付金債務         | 74      | 74      | 0     |
| （リース資産）     | 451    | 430    | ▲ 21  | 科学研究費助成事業等預り金 | 39      | 38      | ▲ 1   |
| （図書）        | 204    | 205    | 1     | 預り金           | 19      | 30      | 11    |
| （美術品）       | 22     | 22     | 0     | 前受受託研究費       | 0       | 3       | 3     |
| （車両運搬具）     | 0      | 5      | 5     | 前受共同研究費       | 5       | 6       | 1     |
| （建設仮勘定）     | 3      | 2      | ▲ 1   | 前受受託事業費       | 0       | 2       | 2     |
| 無形固定資産      | 187    | 183    | ▲ 4   | 前受金           | 3       | 4       | 1     |
| 流動資産        | 796    | 733    | ▲ 63  | 未払金           | 395     | 307     | ▲ 88  |
| 現金及び預金      | 433    | 468    | 35    | 短期リース債務       | 95      | 116     | 21    |
| 未収附属病院収入    | 160    | 157    | ▲ 3   | 未払消費税等        | 2       | 5       | 3     |
| その他の未収入金    | 174    | 78     | ▲ 96  | 負債合計          | 2,008   | 1,993   | ▲ 15  |
| たな卸資産       | 1      | 1      | 0     | 純資産の部         | 6年度     | 7年度     | 増減    |
| 医薬品及び診療材料   | 14     | 14     | 0     | 資本金           | 19,679  | 19,679  | 0     |
| 前払費用        | 11     | 13     | 2     | 資本剰余金         | ▲ 8,153 | ▲ 8,677 | ▲ 524 |
| 立替金         | 0      | 0      | 0     | 利益剰余金         | 460     | 398     | ▲ 62  |
| 資産合計        | 13,994 | 13,393 | ▲ 601 | 純資産合計         | 11,986  | 11,400  | ▲ 586 |
|             |        |        |       | 負債純資産合計       | 13,994  | 13,393  | ▲ 601 |

注) 表示単位未満については切捨て表示しています。

注1 長期繰延補助金等とは補助金により固定資産を取得した場合に、当該勘定科目に振替え、当該資産が費用化（減価償却費）される時点において補助金収益等として収益化する会計処理のための勘定です。

令和5年度より会計基準が改訂され、補助金以外の資産見返負債が廃止となり、補助金財源にて支出した場合のみ長期繰延補助金等として引続き計上することとなりました。

注2 県から出資された教育・研究・診療用の建物は、減価償却費に見合う収益の獲得が見込めないことから、減価償却処理を損益計算書に反映させず、減価償却相当累計額として資本剰余金から控除する取扱いになっています。

## Ⅱ 損益計算書

経常費用は、業務費が３億３千４百万円、一般管理費が５億３千６百万円、財務費用が１千万円等の総額３億８千９百万円で、前年度に対して２億１千６百万円（５．９％）の増加となっています。その主な要因は、職員人件費、診療経費、教育経費、一般管理費の増加及び教員人件費、教育研究支援経費、研究経費の減少によるものです。

なお、業務費において大きな割合を占めているのが教員人件費（３３．５％）となっています。また、一般管理費において大きな割合を占めているのが、業務委託にかかる報酬・委託・手数料（１億２千６百万円）、施設保守管理にかかる保守委託費（１億１千５百万円）となっています。

経常収益は、運営費交付金収益が１億７千９百万円、附属病院収益が１億２千６百万円、授業料・入学金・検定料の学生等納付金収益が４億８千３百万円等の総額３億８千２百万円で、前年度に対して２億４千９百万円（７．０％）の増加となっています。その主な要因は、附属病院収益、運営費交付金収益の増加及び授業料収益の減少によるものです。

臨時利益の内容は、主にその他の臨時利益（１百万円）となっています。

（単位：百万円）

| 費用の部     | 6年度   | 7年度   | 増減   | 収益の部     | 6年度   | 7年度   | 増減  |
|----------|-------|-------|------|----------|-------|-------|-----|
| 経常費用     | 3,673 | 3,889 | 216  | 経常収益     | 3,577 | 3,826 | 249 |
| 業務費      | 3,174 | 3,341 | 167  | 運営費交付金収益 | 1,699 | 1,789 | 90  |
| 教育経費     | 131   | 189   | 58   | 授業料収益    | 411   | 409   | ▲ 2 |
| 研究経費     | 167   | 164   | ▲ 3  | 入学金収益    | 63    | 64    | 1   |
| 診療経費     | 789   | 861   | 72   | 検定料収益    | 10    | 10    | 0   |
| 教育研究支援経費 | 60    | 41    | ▲ 19 | 附属病院収益   | 1,149 | 1,267 | 118 |
| 受託研究費等   | 11    | 11    | 0    | 受託研究等収益  | 11    | 13    | 2   |
| 役員人件費    | 40    | 41    | 1    | 補助金収益    | 147   | 177   | 30  |
| 教員人件費    | 1,167 | 1,120 | ▲ 47 | 寄付金収益    | 31    | 40    | 9   |
| 職員人件費    | 805   | 911   | 106  | その他の業務収益 | 0     | 0     | 0   |
| 一般管理費    | 486   | 536   | 50   |          | 0     | 0     | 0   |
| 財務費用     | 10    | 10    | 0    | 財務収益     | 0     | 0     | 0   |
| 雑損       | 1     | 0     | ▲ 1  | 雑益       | 52    | 50    | ▲ 2 |
| 臨時損失     | 0     | 0     | 0    | 臨時利益     | 1     | 1     | 0   |
|          |       |       |      | 当期純利益    | ▲ 93  | ▲ 61  | 32  |
|          |       |       |      | 目的積立金取崩額 | 0     | 0     | 0   |
|          |       |       |      | 当期総利益    | ▲ 93  | ▲ 61  | 32  |

注) 表示単位未満については切捨て表示しています。

上記費用及び収益に係る増減理由により、収益から費用を差し引いた差額である当期純利益は▲ 6 千 1 百万円で、前年度に対して 3 千 2 百万円増加しています。

また、目的積立金の取崩は行っておりません。